EVENT GUIDE

アート×テクノロジーを通して みんなで未来の社会を考えるお祭り

未来の学校祭 2020

SCHOOL OF THE FUTURE



ARS ELECTRONICA TOKYO MIDTOWN

mil / Dappi

-既成概念からの脱出-

2.20 THU >>> 2.24 MON





社会の中に存在する見えない壁。自分でつくり出す限界。 私たちは気がつかないうちに

様々な既成概念という枠の中で生活しています。

より良い社会をつくり、自分を成長させたいと思っても

それが時にとても難しいのは

この既成概念から抜け出す方法が見えないからかもしれません。

ある種の生き物は、脱皮することで

自分の古い型から抜け出し、新しい自分になります。

私たちや私たちの住む社会は

どのように自分でつくった殻を抜け出して

脱皮していったらいいでしょうか。

このイベントでは、アート作品や既成の枠組みを

打ち破ろうとするプロジェクトを通じて、

私たちの社会を取り巻く既成概念から

「脱皮」するきっかけを提案します。

Invisible walls among society. Self-limiting beliefs. We are often unaware of blindly accepting existing standards and values. Still, many people struggle to get out of the box seeking a better future, or personal growth. Whereas it seems hard for humans to do so, some living creatures shed an old skin, casting off one's old self.

"Dappi (脱皮)" is a Japanese term for shedding. Consisted of two letters, "脱 strip off" and "皮 skin," it implies breaking through walls for transformation.

This festival invites visitors to experience metamorphosis into a new state, through artworks and projects that get rid of stereotypes, push us out of comfort zones. Learn to harness the power of art to move beyond the status quo.

LIMINAL / Louis-Philippe Rondeau



未来の学校祭とは?

未来の学校祭は、東京ミッドタウンとアルスエレクトロニカによる未来の社会をみんなで考える新しいお祭りです。アーティストによる社会への問いかけをきっかけに、様々なクリエイターや企業、大学が来場者とともに、未来の社会を考えます。コンセプトは「アートやデザインを通じて、学校では教えてくれない未来のことを考える新しい場」。イベント来場者はExhibition、Performance、Workshop、Talkなど子供から大人まで楽しめるプログラムを自由に体験することができます。未来について考えるうえで重要なヒントが見つかるかもしれません。

The "SCHOOL OF THE FUTURE FESTIVAL" by Tokyo Midtown and Ars Electronica is a new event for thinking of our future society together with a broad variety of visitors. Artists, companies and universities at Tokyo Midtown will show visitors their finely honed works, projects and products. The concept of School of the Future is "a new place to think about future, something that is not taught in school, through art and design." Visitors to this event can freely experience fun programs, such as exhibitions, performances, workshops and talks, for kids to adults.

Surely, important hints might be found for thinking about the future.

未来の学校とは?

「未来の学校」とは、東京ミッドタウンとアルスエレクトロニカが協働し、イベント参加者とともに、未来の社会を考えるプロジェクトです。コンセプトは、「デザインやアートを通じて、学校では教えてくれない未来のことを考える新しい場」。東京ミッドタウンを舞台に、より豊かで持続可能な未来の社会を形づくるための様々なアイデアやイノベーションを生み出し、それに人々が触発されていくことを目指しています。

"SCHOOL OF THE FUTURE" is a collaborative project in which Tokyo Midtown and Ars Electronica work together to think about the future society with participants. The concept is "a new place to think about future, something that is not taught in school, through art and design." With Tokyo Midtown as a stage, the project aims to generate various ideas and innovations for creating a future society that is richer and more sustainable, and to inspire people about them.



https://www.tokyo-midtown.com/jp/ars_midtown/

ARS ELECTRONICAとは?

「アルスエレクトロニカ」とは、オーストリアのリンツ市を拠点に40年にわたり「先端テクノロジーがもたらす新しい創造性と社会の未来像」を提案し続けている、世界的なクリエイティブ機関です。アート、テクノロジー、社会をつなぐ出会いの場を創造し、横断的「未来」を提案。毎年開催されるメディアアートに関する世界的なイベント「Ars Electronica Festival」は芸術・先端技術・文化の祭典として知られています。

Ars Electronica is a global creative organization based in Linz, Austria that has been proposing "new creativity and visions of society's future that cutting-edge technology will bring about" for 40 years. It creates places to connect art, technology, and society, and proposes ideas about the future while cutting across these domains. The Ars Electronica Festival, a world event held every year about media art, is widely known as a festival of art, cutting-edge technology, and culture.

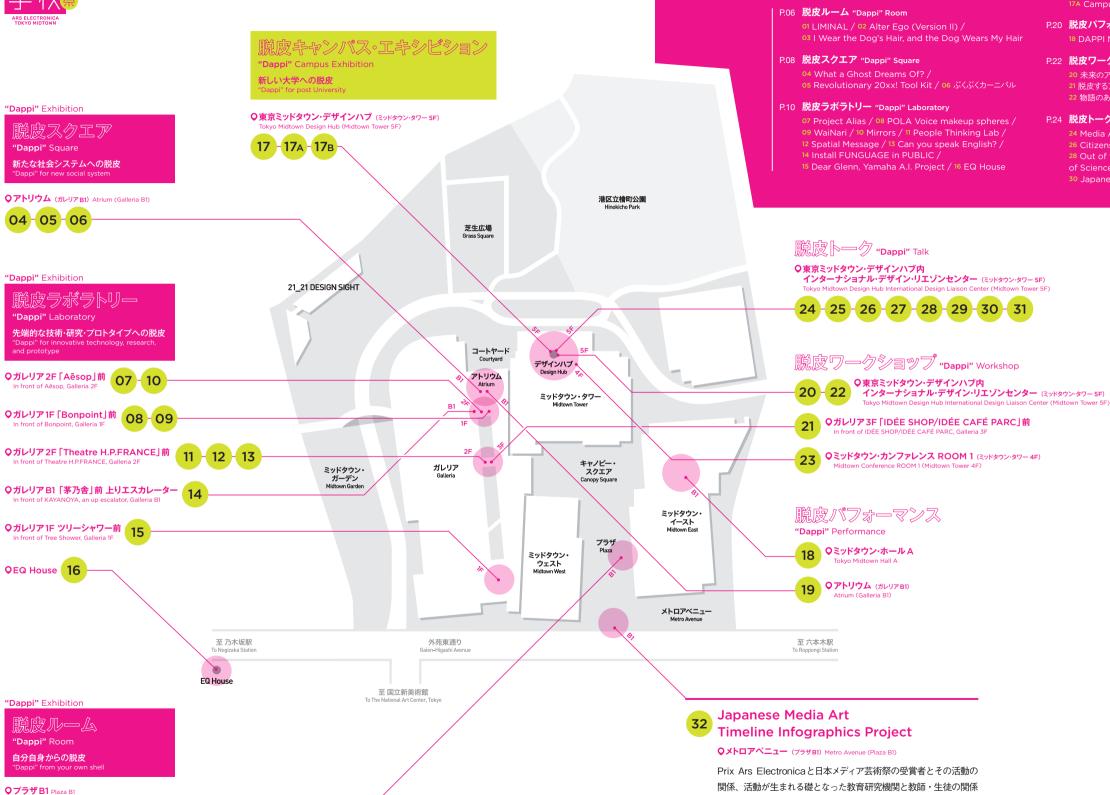


https://ars.electronica.art/



EVENT MAP

CONTENTS



P.17 17 脱皮キャンパス・エキシビション "Dappi" Campus Exhibition 17A Campus Exhibition 公開講評会 / 17B Post University

P.20 脱皮パフォーマンス "Dappi" Performance 18 DAPPI MUSIC PERFORMANCE / 19 ぶくぶくカーニバル

P.22 脱皮ワークショップ "Dappi" Workshop

20 未来のアイコンを作ろう / 22 物語のあるものつくリ(メディア編) / 23 自然から学ぶ脱皮

P.24 脱皮トーク "Dappi" Talk

脱皮エキシビション "Dappi" Exhibition

を、年表として俯瞰するインフォグラフィックです。歴史を振り返る

ことで、脱皮の様々なヒントが見つかるかもしれません。

24 Media Art in Tokyo / 25 Out of the Box 1 /

²⁶ Citizens of the Future / ²⁷ Out of the Box 2 /

28 Out of the Box 3 / 29 STARTS - Innovation at the Nexus

of Science, Technology, and the ARTS /

30 Japanese Media and Art / 31 FUN DRIVENが世界を変える

TOUR PROGRAM

脱皮ツアー

"Dappi" Tour

事前申込制無料

2.23 SUN **©13:00 - 13:45**

2.24 MON @13:00 - 13:45

アルスエレクトロニカのメンバーによる解説 を聞きながら作品を鑑賞するツアー。より深 く「脱皮」について考え、既成概念を壊すきっ かけを提供します。

定員 各回20名

事前申込はこちらから

「未来の学校祭 | 特設サイトより お申し込みください。



WEBSITE





日本語

05

"Dappi" Room

脱皮 ルーム

"Dappi" Room

2.20 THU >>> 2.24 MON

911:00 - 21:00

QプラザB1 Plaza B1

自分自身 からの脱皮

"Dappi" from your own shell

新しい自分や、自分の限界をつくっていたものを見つけるためには、どうしたらいいでしょう? 脱皮ルームに集まるのは、今までと違う視点で自分を眺める作品です。時間を通じて自分を見つめる。自分と他者を重ね合わせて眺める。自分の身体の一部をほかの生き物と交換する。思いがけない自分を発見することで、自分が脱皮するヒントが見つかるかもしれません。

"Dappi" Room is designed to shed your old skin and rediscover yourself, by projecting temporal variation of your body, by seeing a reflection of yourself overlaid on others, or by exchanging your body part with another creature. You'll find unimaginable perspectives of yourself, that release you from self-limiting beliefs, or open you up towards new possibilities.

Dipper Dipper

過去の自分からの脱皮





現在と過去の境界を明らかにしようとする体験型の作品です。「スリットスキャン」と呼ばれる撮影技法を用いて、空間の中に時間が広がっていきます。光の輝く門として現れるインスタレーションは、時間的に歪みながらも、体験者を映し出していきます。この時間の操作は、現在は容赦なく白い光の忘却となる過去に置き換えられていくものだということの、視覚的なメタファーとして機能するのです。

ARTIST



Louis-Philippe Rondeau (ルイ=フィリップ・ロンドー) アーティスト、教授

写真技術史の研究を背景に、デジタルツールによって、 アナログな写真が写し出すリアリティとは異なるデジタル ならではのイメージを追求した作品を制作。

http://patenteux.com/

自分という認識からの脱皮



Alter Ego (Version II)

アルター エゴ



特別な鏡を通して自分と他者を見つめる作品です。この鏡は、自分自身に対する混乱、自己喪失、他者への共感、といった様々な感情を体験する人にもたらします。人は自分をどのように知覚するのか、他者への同情や共感はどのように生まれるのか、作品を通して自分自身への認識を脱皮させるでしょう。

ARTIS



Moritz Wehrmann (モーリッツ・ヴェアマン) アーティスト

様々な実験、インスタレーション、イメージや装置の制作を通じて、未知・既知の形態へ視覚的・空間的アクセスを試みる。 国際科学技術研究所(IKKM)の研究者としても活動。

https://moritzwehrmann.com/

自分と犬との交換による脱皮

MAP **03**

I Wear the Dog's Hair, and the Dog Wears My Hair

犬の毛を私がまとい、私の髪を犬がまとう

犬(名前をチェロという)の毛と、私(INOMATA)の髪を数年にわたって集め、その毛/髪で、互いの衣服/毛皮をつくり、交換するように身にまといました。ペットと人との関係についてあらためて問い、具象化する作品です。

ARTIST



AKI INOMATA (アキ・イノマタ) アーティスト

2008年、東京藝術大学大学院先端芸術表現専攻修了。3Dプリンターを用いて都市をかたどった殻にヤドカリを引っ越しさせる作品のほか、生物と人の観察を通して社会の様相を見せる数々の作品を制作。

https://www.aki-inomata.com/



"Dappi" Square

2.20 THU >>> 2.24 MON

- **©**11:00 21:00
- **○アトリウム**(ガレリアB1)

新たな 社会システムへの 脱皮

"Dappi" for new social system

社会の中で感じる閉塞感、コミュニティ を育むための仕組み、私たちは社会 の問題をどのように変えていけるでしょ うか。これからのデジタル監視社会に おいて、私たちは何を信頼し、何から 身を守ればいいのでしょうか? 新しい 祭は、コミュニティに何をもたらすので しょうか? もしあなたが革命家だとし たら、社会問題をどのように解決しま すか? 作品の体験を通じて、より良 い社会のためのアイデアが生まれてく るでしょう。

"Dappi" Square is a public commons for social discourse. How should our society prepare for increasing digital how do common rituals change (i.e. carnivals)? How do modern revolutionaries tackle social problems? better possible futures.

Out of the Box 3: 新たな社会システムへの ◆ P.25

新たな知性に囲まれた世界からの脱皮



What a Ghost Dreams Of?



現代社会における「ゴースト」とはなんでしょう。東京ミッドタウンには デジタル監視社会の新たな「ゴースト」が潜んでいます。その「ゴースト」 は、自分自身の顔を持つことを夢見ています。来場者を見つめる巨大 な目。次々と表示される顔は、直近の来場者の顔情報から、AIがこの 世界に存在しない顔を考え、生み出したものです。そしてモノクロー ムのフレームの中にあるのが「AIゴースト」の顔。私たちは監視や検閲 のための新たな知性に囲まれた世界からどう脱皮するのか。そしてそ の先に私たち人間はどんな夢を見るのでしょうか。



h.o (エイチ・ドット・オー) アーティストグループ

エイチ・ドット・オーは、ヨーロッパ、日本、アメリカに 拠点を置く国際的なアーティストグループ。Sense the Invisibleをテーマに、多様な専門性を持つメンバーが 実験的なアートプロジェクト・作品を形にしている。

http://www.howeb.org/

未来の革命家への脱皮



Revolutionary 20xx! Tool Kit



あなたは20xx年の革命家です。どのような問題を、どのよう なテクノロジーで、どのように解きますか? 文明の発達と人 類の幸福にまつわる根本的な問いに対し、現在の社会問題をふ まえながら、それぞれの人がアイデアを考え、問題の解決法を 探るためのツールキットです。アートやデザイン教育を受けて いない人を対象とし、未来を拡張するアイデアを出すための道 **具として、東京大学で実施された授業の中から生まれました。**



長谷川 愛 (Ai Hasegawa) アーティスト、デザイナー

生物学的課題や科学技術の進歩をモチーフに、 現代社会に潜む諸問題を掘り出す作品を国内外 で展示。2017年4月から東京大学大学院にて 特任研究員としても活動。

https://aihasegawa.info/

新しい祭への脱皮



ぶくぶくカーニバル

La parade engloutie

"カルナヴァル・オグモンテ"アプリによる 拡張現実を用いたコスチュームです。海 底から来た3人のミュータントのキャラク ターが、不思議な力で水の世界を再生す るためのパーティーに誘います。

※2月23日(日) 15:00-15:30はパフォーマンスのた め展示は行いません。

脱皮パフォーマンス 「ぶくぶくカーニバル」

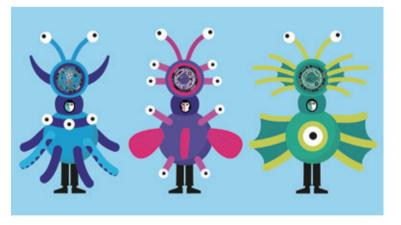














Guillaumit and Les Plasticiens Volants (ギヨミ アンド レ・プラスティシアン・ヴォラン)

ギヨミはボルドーのカーニバルの芸術監督として、衣装やポスター上の3Dアニメー ションを操作できる拡張現実のアプリケーションを開発するアーティスト。今回はレ・ プラスティシアン・ヴォランとのコラボレーションでコスチュームを制作する。

https://guillaumit.tumblr.com/ http://www.plasticiensvolants.com/

"Dappi" Laboratory

2.20 THU >>> 2.24 MON

- **11:00 21:00**
- Oガレリア ほか Galleria etc.

先端的な 技術·研究· プロトタイプへの 脱皮

"Dappi" for innovative technology, research, and prototype

先端的な研究開発を通じて、脱皮を実 践するプロジェクトが集まります。企業 でつくられたプロトタイプに加え、ヨー ロッパで行われている産業を刺激する アートの取り組み、既成品をただ受け 入れるのではなく、能動的な消費者、 ユーザーになるためのプロジェクト。 現在進行形で脱皮するプロジェクトを 体験してください。

"Dappi" Laboratory showcases ongoing advanced technology research and artistic approach to policies and that try to break through boundaries. You can explore a new sphere of

既存の製品からの脱皮

Project Alias

○ガレリア2F 「Aēsop」前 In front of Aēsop, Galleria 2F

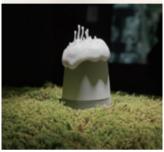
Aliasは、カスタマイズとプライバシーの両方に関して、ユーザー がスマートアシスタントをより制御できるようにデザインされた、 教えやすい「寄生生物」です。 シンプルなアプリケーションを通じ てユーザーは Alias をトレーニングし、自分で決めたウェイクワー ド/サウンドで起動させることができます。Alias は一度訓練され ると、ホームアシスタントをアクティブ化して制御できるように なります。 使用しない時はマイクを邪魔して聞くことができない ようにして、Aliasのアシスタントを無力化させます。

S+T+ARTS SCIENCE + TECHNOLOGY + ARTS

Grand Prize 2019







ARTIST



Biørn Karmann, Tore Knudsen (ビョルン・カルマン、トア・クヌーセン) デザイナー

ビヨルンはデザイン、インスタレーションアート、 ロボット工学、フィジカル・コンピューティング の経験を持つ。アムステルダムTellartを拠点

https://bioernkarmann.dk/

トアはコペンハーゲンを拠点とするデザイ ナー。主にUXデザインとプロトタイピングを 手がける。現在はマルメのTopp Design &Innovationに所属。

http://www.toreknudsen.dk/

C. S 2 4 S <u>S</u> What

STARTS (Innovation at the Nexus of Science, Technology, and the ARTS) はアートとテクノロジーの共創を通じて、これまでの既成概念を 打ち破り、社会、経済、環境問題など私たちを取り巻く様々な課題に取り 組むことを目的とした、2016年に創設された欧州委員会のプログラム。研 究者、エンジニア、アーティストの協働を推進・啓蒙するプラットフォームと して、5つの柱から成り立つエコシステムです。STARTSプライズはアルス エレクトロニカによって運営されています。

レジデンス (Residencies)

科学技術研究機関にアーティストを派遣

ライトハウス (Lighthouses)

社会課題にアーティストと協業して取り組む研究の財政支援

アカデミー (Academy)

アーティストとエンジニアがタッグを組んで提供する 市民へのデジタル知識教育プログラム

リージョナルセンター (Regional Centers) STARTSの取り組みをEU各地に伝える拠点

プライズ (Prize)

科学・テクノロジー・アートを横断する革新的なプロジェクトを表彰し、 好事例を広く訴求するコンペティション

https://www.starts.eu/



European Union funding for Research & Innovation



under grant agreement No 732019 and grant agreement No 824950. This publication (communication) reflects the views only of the author, and the European Commission cannot be held responsible for any use which may be made of the information contained therein

STARTSプロジェクトの 一部をご紹介します

- 2017-19年 Prize表彰作品より -

STARTS PRIZE 2020 作品募集中

https://starts-prize.aec.at/

https://ars.electronica.art/prix/en/

アルスエレクトロニカの コンペティション Prix Ars Electronicaと 同時応募も可能



Ciutat Vella's Land-use Plan 300 000 Km/s

Nomination 2018



Who Wants to Be a Self-Driving Car? Joey Lee, Benedikt Groß, Raphael Reimann, MESO Digital Interiors, David Leonard

Grand Prize 2017



Rock Print Gramazio Kohler Research, ETH Zurich, und Self-Assembly Lab. MIT

Honorary Mentions 2017



[IGNIS AER AQUA TERRA] Yuima Nakazato

脱皮トーク 「STARTS - Innovation at the Nexus of Science, Technology, and the ARTS」

P.25

既存の自己認識からの脱皮



POLA Voice makeup spheres

POLA

顔の個性に合わせて化粧が変わるように、声の個性に合わせて美し い音が生成され声がメークアップされるという、パーソナライゼー ションに特化したサウンド・インスタレーションです。生涯で最も 多く聞く音のひとつに自分の声が挙げられますが、日本人のおよそ 8割の人が自らの声にコンプレックスを持っていると言われていま す。そんな自分の声と向き合うことで、今まで決めつけていた価値 観を脱ぎ去るきっかけになるのではと考えました。

EXHIBITOR

株式会社ポーラ

「最上のものを、一人ひとりにあったお手入れとともに、直接手渡したい」という 想いから、ポーラは1929年に創業。2019年に90周年を迎えた。2016年 のリブランディングでは、独自価値を「Science, Art, Love, と再定義し、業 種を超えたコラボレーションをはじめ、国内外で新たな体験や可能性を届ける取 り組みに努めている。

https://www.pola.co.jp/



固定観念からの脱皮



Mirrors

○ガレリア**2F** [Aēsop]前 In front of Aēsop, Galleria 2F





自分の姿が映らない鏡、他人の顔が映ってしまう鏡、寿命が見える鏡、姿ではなくてデータだけを映す

鏡など、映るはずのものが映らず、映らないはずのものが映る鏡です。無意識に当たり前と思いこんで

EXHIBITOR

株式会社 アイ・エム・ジェイ

IMJは、「REINVENTING THE EXPERIENCE」 をスローガンに、独自の共創文化と高い専門性 を持つトップタレントを結集し、最高のエクスペリ エンスを創出。お客様との垣根を超えて、未来を ともに創造する真のパートナーとなり、ビジネスパ フォーマンスの最大化にコミットしていく。

https://www.imjp.co.jp/

「おいしいね」からの脱皮



EXHIBITOR

12

WaiNari

TOSHIBA





○ガレリア1F「Bonpoint」前 In front of Bonpoint, Galleria 1F



ビル・施設、鉄道・産業システム、公共インフラやリテール&プリンティングなどの「社会インフラ」

を核に、「エネルギー」、「ストレージ&デバイス」、「インダストリアルICT」の4事業領域を発展さ

せるとともに、幅広い事業領域で社会課題の解決に貢献する。

「このワインおいしい~|「飲みやすいね~| 「……」。ワイン職人が丹精込めてつくっ たワインなのに簡単な表現に留まってい ませんか? このプロトタイプではおいし い!と感じる様々な味覚をワイングラスに 語りかけることで視覚化・言語化。さらに はシェアすることで様々なおいしい!の表 現を知ることができます。もっと深くワイ ンを味わうためにも「おいしいね」から脱皮 してみてください。

協力

NPO 法人ミラツク

https://www.city.shiojiri.lg.jp/

予定調和からの脱皮



People Thinking Lab

Peop, le Thinkling

ナー独特の観点を活用した作品の中から、思いも寄らない発想が生まれることを期待します。

いる既成概念や固定観念という、自分を取り囲む殻に気がつく脱皮のための装置です。

Oガレリア2F Theatre H.P.FRANCE 前 In front of Theatre H.P.FRANCE. Galleria 2F

HAKUHODO ·I-STUDIO·

株式会社 博報堂アイ・スタジオ

オウンドメディアを中心に、データを起点とした マルチタッチポイントでの顧客体験 (CX) 設計と UIデザイン、企画制作、テック活用、システム 開発、PDCAマネジメント運用までをクロスボー ダーで提供。クライアント企業の「ブランド創造」と 「顧客創造」に貢献するデジタル領域のスペシャ リスト集団。

https://www.i-studio.co.jp/

脱皮ワークショップ 「未来のアイコンを作ろう」

13

ある事柄について深く洞察したい時、既存の思考の枠組みや論理的に導かれた結果は予定調和なもの かもしれません。People Thinking Labは、博報堂の生活者発想を下敷きに、オーストリアで行われた Ars Electronica Festival 2019にて、豊かな発想力を刺激する提案を行いました。AI技術やデザイ http://emerging-future.org/

株式会社東芝

https://www.toshiba.co.jp/

平面メディアからの脱皮



Spatial Message

MESON Hakuhodo DY holdings

○ガレリア2F 「Theatre H.P.FRANCE」前 In front of Theatre H.P.FRANCE, Galleria 2F

最新のMRグラスを用いて、東京ミッドタウンに仮想的に配置された情報に触れることができる、空間コミュニケーションのデモンストレーションを展示。AR(拡張現実)技術の進化は、現実空間とシームレスにつながった仮想空間を新たなコミュニケーションの場にするなど、生活体験を大きく変化させていくと考えられます。場所や空間に個々人が情報を半永久的に残すことができる時、コミュニケーションのあり方はどのように脱皮するのでしょうか?



EXHIBITOR 株式会社MESON

AR時代のユースケースとUXをつくるクリエイティブスタジオ。様々なアセットを持つパートナー企業と研究するクリエイティブスタジオ事業を展開。 世界最大のARカンファレンスAWEのアワードで、2つのサービスがソフトウェアとして日本初のファイナリストに。http://meson.tokyo/

株式会社博報堂DYホールディングス

生活者発想を基軸に、クリエイティビティ、統合力、データ/テクノロジー活用力を融合することで、企業のマーケティングの進化と、イノベーション創出をリードするマーケティングサービス企業。https://www.hakuhodody-holdings.co.ip/

受身からの脱皮



Can you speak English?

GSE

キャン ユー スピーク イングリッシュ?

Oガレリア2F Theatre H.P.FRANCE 前 In front of Theatre H.P.FRANCE. Galleria 2F



街なかで英語で声をかけられて、あなたはスムーズに会話を始められますか? 訪日外国人が3,000万人を超える一方、7割の日本人が英会話に苦手意識を感じているといいます。本展示ではVRを使って、東京のいまと10年後のロサンゼルスを舞台に、英語で楽しくコミュニケーションをする未来の自分を疑似体験します。時空を超えて能動的なグローバル市民へと脱皮するきっかけを提供します。

XHIBITOR

グローバルスカイ・エデュケーション株式会社

VUCA (ブーカ) 時代に世界視座を持ってしなやかに生き抜く生涯や組織の実現のために、学びをデザインする会社。ロジカル、デザイン、アートといった各思考をバランスよく養成する。試行錯誤し自分事でつくりあげる学習体験を特徴とし、VRやリアル没人体験施設も教材となる。https://gskyedu.com/

脱皮トーク 「Citizens of the Future」

▶ P.24

既成概念からの脱皮



Install FUNGUAGE in PUBLIC

株式会社バンダイナムコ研究所

1フストール ファフケーシ イフ ハブリック

○ガレリアB1「茅乃舎 | 前 上りエスカレーター In front of KAYANOYA, an up escalator, Galleria B1

パブリックな空間にFUNGUAGEをインストールするとどのような POSITIVE / FUNな変化を牛み出すことができるか?

EXHIBITOR

株式会社バンダイナムコ研究所

バンダイナムコ研究所は、最先端技術の研究開発を起点に、「エンターテイン メントの新しい価値を創出」する「エンターテインメント イノベーション集団」。これまで培ってきた知見を最大限に活かし、世界中のイノベーターと積極的に共 創を行うことで、「今までにない新しいアソビやエンターテインメント」を生み出し 実現していく。

https://www.bandainamco-mirai.com/



「FUN DRIVENが世界を変える」

P.25

FUNGUAGE

"自動"から"AI"演奏への脱皮



Dear Glenn, Yamaha A.I. Project



Oガレリア**1F** ツリーシャワー前 In front of Tree Shower, Galleria 1F



Dear Glenn, Yamaha A.I. ProjectはAIと人間の共創の可能性を追求するためのプロジェクトです。 伝説的ピアニスト、故グレン・グールドらしい音楽表現でピアノを演奏することができ、さらに人間と協調して合奏することができる世界初のAIシステムを、昨年9月、オーストリアのリンツにて開催された「アルスエレクトロニカ・フェスティバル」にて初公開しました。AIによって学習されたグールドの演奏を、自動演奏ピアノによって体験することができます。今回の取り組みを通じて、現代のテクノロジーであるAIと人間が互いに刺激し合い、共創する新しい音楽表現のあり方を提示します。

EXHIBITOR

ヤマハ株式会社

1887年創業の総合楽器メーカー。アコースティックからデジタルまで多彩なラインナップの楽器を製造し、全世界で販売。さらに楽器の製造・販売で培った技術やノウハウを活かし、音響機器、音楽教室、ネットワーク機器、音声コミュニケーション機器、半導体、ゴルフ用品、FA機器、リゾートなどの事業も展開。音・音楽で培った技術と感性をもとに、新たな感動と豊かな文化を人々とともに創り続ける。

脱皮パフォーマンス

[DAPPI MUSIC PERFORMANCE]

https://www.yamaha.com/

• P.20

15

AHAMAY

17

「従来のイエ」からの脱皮



EQ House



モノがインターネットにつながるIoTが、すべて のものにつながり、必要に応じて各デバイスに シェアされるIoEへ変容する中、建築はその接点 になることが求められています。従来、クルマ は家の外やガレージにとまっていましたが、ダ イムラー社の提唱した"CASE"によって電動化 が進むと、モビリティは家の中に入り込み、シー ムレスにつながるようになります。つまり、未来 は電動化・自動化したモビリティを受け入れる

ことを前提にした、新しい建築コンセプトが必要 となってきます。IoTにより建築が様々なモノと 「つながり」、そこに暮らす人はもちろん、それ以 外の各要素・機能・デバイスを「みまもり」、そ れぞれとコミュニケーションを取りながら情報を シェア、つまり「つたえ」、その人の好みを「まな び」、人とともに「そだつ」、生命が宿る建築。EQ Houseは、従来のイエから脱皮をした「未来の 家」の形です。



メルセデス・ベンツ日本株式会社

「最も愛されるブランドへ」というカンパニービ ジョンを掲げ、コンパクトカーからSUV まで、 お客様のライフスタイルに応える多様なライ ンナップを揃えるほか、最新の安全運転支 援システムを搭載し、自動車を発明した会社 の責任として、"事故無きクルマ社会"を目指 している。

https://www.mercedes-benz.co.jp/



ADDRESS

Mercedes me Tokyo(六本木) 港区六本木7-3-10

https://www.mercedes-eq.jp/



HOURS

10:00 - 20:00



建物内でリビングとモビリティ空間が交差するEQ House。中央に設置されたガラスインターフェースには、室内の温度や 明るさなどの情報が浮かびあがり、人と家をつなぎます。外装には1,200枚に及ぶパネルを使用。1年365日の日照パター ンをシミュレーション結果に基づいた設計で、1年を通じて心地よい木漏れ日のような光や風を感じられます。

2.20 THU >>> 2.24 MON **©**11:00 - 21:00

新しい大学への脱皮 "Dappi" for post University

今年、「未来の学校祭」は大学に注目します。

少子高齢化による学生の減少、義務教育でプログラミングが授業化されるなど

こうした社会状況の中で

大学は、今そして未来に、どう脱皮しようとしているのでしょうか。

○東京ミッドタウン・デザインハブ(ミッドタウン・タワー 5F)

Tokyo Midtown Design Hub (Midtown Tower 5F)

国内外の5大学が集まり

大学、教員、学生それぞれの取り組みを紹介します。

University, a core institution of higher education,

is under pressure of transformation.

- Adaptation of the demographic shifts, urgent needs to teach digital technologies -

these are just a tip of the iceberg.

How can universities change for the future?

Campus Exhibition introduces unique approaches from 5 different universities.

Part 1

University of the future

これからの大学で必要なのはどのような授業でしょうか? 何を学び、考え、身につければいいのか。

教師、学生が考える未来の授業シラバスが展開されます。

What will university education be in the future? Educators and students rethink the meaning of education, and develop virtual course syllabus.

Part 2

大学の現在 **University NOW**

今、大学にいる教師や学生が実践し、 大学という場で脱皮を試みるプロジェクトを紹介します。

Let's take a glimpse of current university projects that are bringing about transformation.







5つの研究室が 未来への脱皮を試みます











Keio University SFC

田中浩也研究室+武田圭史研究室

Hirova Tanaka Laboratory + Keiji Takeda Laboratory

担当教員

田中浩也、武田圭史、常盤拓史

Hiroya Tanaka, Keiji Takeda, Takuji Tokiwa

慶應義塾大学 SFC では、デザイン、アート、サ イエンス、テクノロジーを横断的に用いながら、 「次の(次の)社会」を創造するための多様な研 究を実践しています。100を超える研究会に 1年生からでも所属できることが特色で、か つ、研究会どうしのコラボレーションを、教員 ではなく、学生が主導することも頻繁に起こ ります。今回は、3Dプリンタやデジタルファ ブリケーションの研究室と、ドローンやセキュ リティ技術の研究室のコラボレーションによる 出展です。

http://fab.sfc.keio.ac.jp/ https://lab.keioac.jp/

多摩美術大学

情報デザイン学科 メディア芸術コース

Art & Media Course, Department of Information Design, Tama Art University

メディアラボ

Media Lah

担当教員

久保田晃弘、谷口暁彦

Akihiro Kubota, Akihiko Taniguchi

多摩美術大学情報デザイン学科「メディア芸術 コース」は、デジタルテクノロジーやバイオメディ アを活用したハイブリッドな映像音響作品を中 心に、多彩なメディア芸術表現に取り組んでい ます。「メディアラボ」は、宇宙から深海、細胞 から衣食住まで、この世界のあらゆる対象をリ サーチしながら、メディアインスタレーション、 バイオアート、サウンドパフォーマンスやオルタ ナティヴ写真、ゲームアートなど、様々な形式 の作品制作にチャレンジしています。今回は、 このメディアラボの3年生が中心となって「逆 大学」をテーマにした展示を行います。

http://www.idd.tamabi.ac.ip/art/

3

筑波大学

担当教員

University of Tsukuba

工学·芸術連携リサーチユニット

Research Unit on Art and Technology

岩田洋夫、内山俊朗、村上史明

Hiroo Iwata, Toshiaki Uchiyama, Fumiaki Murakami

筑波大学におけるメディア技術の先端研究と科

学技術を用いた芸術表現は、ともに世界トップ

レベルにあります。これらを担う工学系研究者

と芸術系研究者が連携することによって、科

学技術と文化芸術が融合した新たな学問を開

拓します。科学技術と文化芸術の融合は、日

本がこれから取り組むべき重要課題です。筑

波大学は、設立時から芸術学部を擁する稀有

な総合大学です。このポテンシャルを生かして

工学と芸術の連携体制を整備し、この課題に

http://intron.kz.tsukuba.ac.jp/tech-art_





Musashino Art University

武蔵野美術大学

視覚伝達デザイン学科研究室

Department of Visual Communication Design

担当教員

造形学部

4

古堅真彦、後藤映則

Masahiko Furukata, Akinori Goto

視覚伝達デザイン学科では、どのように「見 つめるのか」「見るべきか」「見たか」といった対 象と自身との関係を明確にして、ビジュアルコ ミュニケーションを成立させることのできる人 材を育てます。コミュニケーションの基盤とな る身体性と五感、そして、デザインに必要とさ れるメディアを操る技術力、造形力と知力、こ れらを駆使して社会の多様な要求に応えるこ とのできる基礎課程と、高度な専門領域の科 目が用意されています。

https://vcd.musabi.ac.jp/

University of Art and **Design Linz**

linz

リンツ芸術デザイン大学

ファッション&テクノロジー

Fashion & Technology

担当教員

5

Ute Ploier ウテ・プロイエ

ファッション&テクノロジープログラムは、オー ストリア・リンツ芸術デザイン大学の、持続可 能で包括的かつ解放されたファッションデザイ ンのビジョンを開発する学士と修士プログラム です。「In the Lab」は、ファッションの未来の 舞台裏を眺めるプロジェクトです。一連の映像 は、完成したデザイン・ソリューションだけでな く、革新的な制作プロセスを可視化します。そ の内容は、メカトロニクスデバイスで紡がれた 3Dのファッション彫刻から、バイオモルフの レース、未来の農民としての微生物、デジタル ボディの出現と崩壊にまで及びます。

https://www.ufg.at/Fashion-Technology. 11325+M52087573ab0.0.html

2 22 SAT

○東京ミッドタウン・デザインハブ内

インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター (ミッドタウン・タワー 5F) Tokyo Midtown Design Hub International Design Liaison Center (Midtown Tower 5F)

前申込はこちらから

来の学校祭」特設サイトよりお申し込みください。

Workshop



Campus Exhibition 公開講評会

●11:00 - 12:30 (開場10:40)

事前申込不要

Campus Exhibitionに参加した学生とアルスエレクトロニカメンバー が、それぞれのプロジェクトを切り口に、これからの社会に必要な様々 な脱皮について、ワークショップ形式で議論します。どなたでもご参加 いただけます。

※参加者多数の場合はご入場いただけない可能性があります。

Talk



取り組みます。

researunit/index.html

Post University: 誰のための大学?

€14:00 - 15:30 (開場13:40)

事前申込制

研究、教育、社会提言。大学は人類のための普遍的な哲学や技法、知識を生 み出し、それを広く社会に還元してきました。科学技術の急激な発達とともに、 人間性や社会性というテーマにおいて重要な役割を果たすはずのアート研究・ 教育も脱皮が求められています。このセッションは、日本とオーストリアの大学 で教鞭をとる研究者、教育者が集い、未来の大学への実践、最新のデザイン、 アーティスティック・リサーチの可能性について議論を深めます。

SPEAKER

岩田洋夫 (Hiroo Iwata) 筑波大学 システム情報系 教授

久保田晃弘 (Akihiro Kubota)

多摩美術大学 情報デザイン学科 教授、アートアーカイヴセンター 所長

古堅真彦 (Masahiko Furukata) 武蔵野美術大学 視覚伝達デザイン学科 教授

Ute Ploier (ウテ・プロイエ)

リンツ芸術デザイン大学 ファッション&テクノロジー学科・学科長 アーティスト、リサーチャー

MODERATOR 久納鏡子 (Kyoko Kunoh)

アルスエレクトロニカ・フューチャーラボ、アーティスト

*The Japanese speeches will be interpreted simultaneously into English. Please keep in mind that the number of simultaneous interpretation receivers is limited.

"Dappi" Performance

一部事前申込

事前申込はこちらから

「未来の学校祭 | 特設サイトより お申し込みください。



2.20 THU

新しい音楽への脱皮

18

DAPPI MUSIC PERFORMANCE (Spin) PERFORMANCE

EXAMPLE

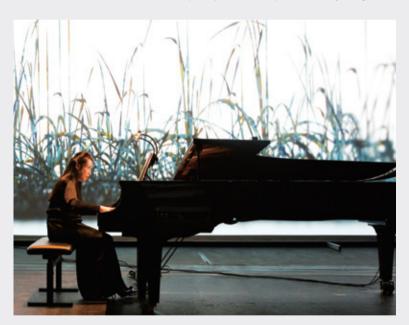
脱皮ミュージック・パフォーマンス

●18:30 - 19:30 (開場18:00) □ 18:30 - 19:30 (開場18:00)

協力:ヤマハ株式会社

※英語は日本語に逐次通訳されます。

les will be interpreted simultaneously into English. Please keep in mind that the number of simultaneous interpretation receivers is limited.



Piano Performance

ARTIST 滑川直希

Ars Electronica

人間による演奏と、その演奏によって自動生成されていくコンピュータ 映像のパフォーマンスです。

Part 2

Dear Glenn, Yamaha A.I. Project with Akiko Nakayama

ARTIST Glenn Gould as A.I.

中山晃子

Ars Electronica Futurelab

亡きピアニストの演奏を機械学習し、自動演奏するAIによる音楽パ フォーマンス。今回は人の手でリアルタイムに生み出されるヴィジュアル とのスペシャル・コラボレーションです。

コンピュータやAIが生み出す新しいクリエイション が今、注目されています。人間が担ってきた創造 の領域を、新しい技術はどのように広げていくで しょうか。一方で人間にしか生み出せない音楽やア ートの表現とはどのようなものでしょう? このパ フォーマンスでは、既存の表現から脱皮しようとす る新しい音楽とヴィジュアライゼーションを紹介し ます。

ARTIST



Maki Namekawa) コンサートピアニスト

欧州に拠点を置き、ニューヨーク、ウィーン、ロンドン、 パリをはじめ世界各地で演奏活動を行う。フィリップ・グ ラスとのコラボレーションをはじめ、現代を代表する作曲 家たちの楽曲演奏で高い評価を得ている。

https://www.makinamekawa.com/



中山晃子 (Akiko Nakavama)

液体から固体まで様々な材料を相互に反応させて絵を 描く「Alive Painting」というパフォーマンスを行い、科 学・物理の法則に基づく現象や現れる色彩を、生物や 関係性のメタファーとして生き生きと描く。

http://akiko.co.jp/

脱皮エキシビション

[Dear Glenn, Yamaha A.I. Project] P.15

脱皮パフォーマンスでは先端的なテクノロジーを駆使したプロジェクトが登場します。

AIなどテクノロジーと人間の創造性に迫る脱皮ミュージックコンサート、

都市に新しい祭を生み出すパレード、従来の音楽と祭の脱皮をお楽しみください。

"Dappi" Performance will amaze you by boundless possibilities of collaboration between human and the latest technologies. Enjoy Human × Technology ensemble, as well as carnival parade enhanced by virtual reality technologies.

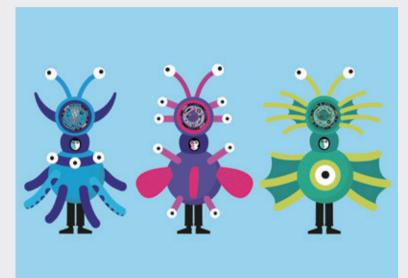
2.23 SUN

新しい祭への脱皮

ぶくぶくカーニバル 事前申込不要

La parade engloutie

●15:00 - 15:30 **○アトリウム**(ガレリアB1) Atrium (Galleria B1)





Guillaumit and Les Plasticiens Volants (ギョミ アンド レ・プラスティシアン・ヴォラン)

海底からやってきた3人のミュータントとともに、 東京ミッドタウンの中をパレードします。都市に生

み出される新しい祭を、一緒に体験してください。

どなたでもご参加いただけます。

アーティスト

ギヨミはボルドーのカーニバルの芸術監督として、衣装やポ スター上の3Dアニメーションを操作できる拡張現実のアプリ ケーションを開発するアーティスト。今回はレ・プラスティシア ン・ヴォランとのコラボレーションでコスチュームを制作する。

https://guillaumit.tumblr.com/ http://www.plasticiensvolants.com/

脱皮エキシビション 「ぶくぶくカーニバル」

P.09

ぶくぶくカーニバル・ワークショップ

事前申込制

Workshop

©13:00 - 14:30

○アトリウム(ガレリア**B1)** Atrium (Galleria B1)

海底から来たミュータントとカーニバルをするための衣装をつくりま す。ワークショップが終わった後は、ミュータントとともにミッドタ ウンの中を練り歩きましょう!

対象年齢 4歳以上 定員 20名

※逐次通訳

DIGITAL CHOC





「デジタルショック」とは? P.27

21

デジタルショック



"Dappi" Workshop

事前申込制

事前申込はこちらから

「未来の学校祭 | 特設サイトより お申し込みください。



どうしたら自分の殻を破ることができるでしょうか? より良い社会をつくるために、どんな方法があるのでしょう? 脱皮ワークショップでは、自分の視点を変え、他の生物に学ぶなど 様々な角度から脱皮を体験するワークショップが行われます。 あなたはどのように脱皮しますか?

"Dappi" Workshop provides hands-on opportunities to learn from other organisms, change your perspectives. and feel yourself transforming into new creatures. Join the sessions and let's get clues to "Dappi" in your own way.

2.23 SUN

左脳からの脱皮

MAP 20

未来のアイコンを作ろう

HAKUHODO ·I-STUDIO ·

●11:00 - 12:30 (開場10:40)

○東京ミッドタウン・デザインハブ内

インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター (ミッドタウン・タワー 5F)

Tokyo Midtown Design Hub International Design Liaison Center (Midtown Tower 5F)















「ロボット専用車両のアイコンを作ろう」。そう言われた らどんなデザインにしますか? まずはその風景を思い 描くことでしょう。そこではロボットは椅子に座ってい ますか? 疲れないから椅子は不要でしょうか? Ars Electronica Festival 2019で実施したワークショップ では、左脳的思考に囚われず、将来必要になる標識や マークなどのアイコンを通じて未来の風景を想像しまし た。プロのインターフェースデザイナーの講師とともに、 普段と違った発想法で未来を思い描いてみませんか?

対象年齢 全年齢

※小学3年生以上推奨(保護者の参加可)

定員 30名



河野洋輔 Yosuke Kono 株式会社 博報堂アイ・スタジオ アートディレクター / デザイナー

脱皮エキシビション「People Thinking Lab」

P.13

2.24

MON

新しい視点への脱皮



脱皮するアート・ワークショップ by アルスエレクトロニカ

●11:00 - 12:30 (開場10:40)

〇ガレリア 3F 「IDÉE SHOP/IDÉE CAFÉ PARC」前 In front of IDÉE SHOP/IDÉE CAFÉ PARC, Galleria 3F

知らない間に囚われている固定概念から、私たちはどうやって抜け出したらい 対象年齢 小学生以上 いでしょうか? アーティストは一人ひとりが「当たり前」に思っていることや社会 の常識に、作品を通して疑問を投げかけます。アルスエレクトロニカのメンバー が行う展覧会ツアーと小さな脱皮ワークを通して、アートによるマインドセット の脱皮を体験します。



小川絵美子 プリ・アルスエレクトロニカ



久納鏡子 Kyoko Kunoh アルスエレクトロニカ・フューチャーラボ、 アーティスト



清水陽子 Yoko Shimizu アルスエレクトロニカ・フューチャーラボ、

2.24

MON

MAP

脱皮のための〈ノイズ〉

物語のあるものつくり(メディア編) 22

●14:00 - 15:30 (開場13:40)

○東京ミッドタウン・デザインハブ内 インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター (ミッドタウン・タワー 5F)

Tokyo Midtown Design Hub International Design Liaison Center (Midtown Tower 5F)

アート/デザインは「人とノンヒューマンな主体(人工物、物質、重量、質感……)| との間をつなぐ、懸け橋になることが求められています。「メディアとしてのもの つくり と、そこにある 「ノイズ | を再考する、東工大発デモンストレーション + ディ スカッションイベントを行います。既存の社会、身体のコンテクストから私たち は自由になることができるのか。哲学、テクノロジー、コミュニケーション……を 交錯させて議論する、楽しいワークショップです。

定員 30名

対象年齢 18歳以上

講師 野原佳代子

Kavoko Nohara 東京工業大学 環境·社会理工学院 融合理丁学系 教授

コラボレーター 川崎昌平

Shohei Kawasaki 作家、漫画家

株式会社コンセント編集者、クリエイティブディレクター

2.24 MON

昆虫の専門家が教える脱皮

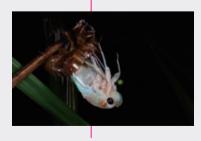


自然から学ぶ脱皮

●14:00 - 15:30 (開場13:40)

▽ミッドタウン・カンファレンス ROOM 1 (ミッドタウン・タワー 4F)

Midtown Conference ROOM 1 (Midtown Tower 4F)



東京ミッドタウンには、どんな昆虫が生息しているので しょうか。そしてその昆虫がどう脱皮するのでしょうか。 千葉大学園芸学部応用昆虫学研究室とアルスエレクト ロニカのコラボレーションで実現する、身の回りの生き 物から脱皮を学ぶワークショップです。

対象年齢 小学生以上

定員 20名



野村昌史 Masashi Nomura 千華大学大学院 園芸学研究科 准教授

"Dappi" Talk

○東京ミッドタウン・デザインハブ内

インターナショナル・デザイン・リエゾンセンター (ミッドタウン・タワー 5F)

Tokyo Midtown Design Hub International Design Liaison Center (Midtown Tower 5F)

*The Japanese speeches will be interpreted simultaneously into English. Please keep in mind that the number of simultaneous interpretation receivers is limited.

MAP Media Art in Tokyo: メディアアートはTOKYOをどう脱皮させられるか?

●19:00 - 20:30 (開場18:40)

2020年の東京オリンピック、そしてその後に向けて大規模開発の進む東京。都市イ ンフラから文化インフラへ。スマートシティーからスマートシチズンへ。アルスエレク トロニカのメンバーと東京の仕掛け人たちが、これからの都市の脱皮とメディアアー トの役割を議論します。

東京がメディアアートに染まる1カ月!

P.27

2.22 Out of the Box 1: 自分自身からの脱皮

●16:30 - 18:00 (開場16:10)

アートは、既成概念という箱から脱出するために、時として、閉じこもった私たち自身 をあらわにしたり、そこから脱出する機会をつくってくれます。このセッションは「脱皮 ルーム | で展示するアーティストたちの活動を通して「自分自身からの脱皮 | をテーマに 議論を深めます。

脱皮エキシビション | 脱皮ルーム

P.06-07

2.22 Citizens of the Future: 未来の市民が学ぶこと

●19:00 - 20:30 (開場18:40)

2020年、日本では学校教育が変化を遂げ始めます。今までの学校教育は与えられた 問いに答える知識を与えるものでした。予測不能な未来をしなやかに生き抜くために は、自ら問いを立て、行動する新たな学びが求められます。多様な教育の実践者たち がシチズン・サイエンスやSTEAM教育、未来の学校のあり方について議論します。

脱皮エキシビション「Can you speak English?」

脱皮に向けて現在進行形の試行錯誤を紹介します。

P.14

2.23 Out of the Box 2:イノベーションのための脱皮

●14:00 - 15:30 (開場13:40)

急激な技術の発達が枠組みの破壊と新たな創造を生み出す中、本来あるべき社会や人 間のためのイノベーションとは何でしょうか。より人間らしくいるための人に寄り添う 技術とは。それを探求するアーティスティック・リサーチとは。「責任のある創造」への

車前由込制

事前申込はこちらから

「未来の学校祭 | 特設サイトより お申し込みください。



SDEAKED

Gerfried Stocker (ゲルフリート・シュトッカー) アルスエレクトロニカ 総合芸術監督

岡村恵子 (Keiko Okamura) 第12回恵比寿映像祭 キュレーター

Charles Carcopino (シャルル・カルコピノ) インディベンデント・キュレーター、ビデオ作家

谷川じゅんじ (Junji Tanigawa) 一般社団法人Media Ambition Tokyo 代表理事

藤谷菜未 (Nami Fujitani) 東京ミッドタウン 未来の学校祭 プロデューサー

小川絵美子 (Emiko Ogawa) プリ・アルスエレクトロニカ・ヘッド

Louis-Philippe Rondeau

(ルイ=フィリップ・ロンドー) アーティスト. 教授

Moritz Wehrmann (モーリッツ・ヴェアマン)

AKI INOMATA (アキ・イノマタ) アーティスト

MODERATOR

小川絵美子 (Emiko Ogawa) プリ・アルスエレクトロニカ・ヘッド

Gerfried Stocker (ゲルフリート・シュトッカー) アルスエレクトロニカ 総合芸術監督

市原えつこ (Etsuko Ichihara)

石戸奈々子 (Nanako Ishido) 廖雁義孰大学 教授, NPO法人CANVAS 理事長

Michael Thundercliffe (マイケル・サンダークリフ) GSF シニアマネージャー

MODERATOR

小川秀明 (Hideaki Ogawa) アルスエレクトロニカ・フューチャーラボ・共同代表

SDEAKED

Biørn Karmann (ビョルン・カルマン)

Tore Knudsen (トア・クヌーセン) デザイナー

MODERATOR

高橋祥子 (Shoko Takahashi) アルスエレクトロニカ・アンバサダー

今、様々な分野で新しいアイデアを用いながら、社会の問題を超えようとする試みが行われています。

アーティストが社会に投げかける問いはどのように生まれているのか?

Ars ElectronicaとEUが軸となって文化と産業の双方を刺激する取り組みとは?

2月に開催されるフェスティバルは東京をどう脱皮させるのか、

脱皮のための試みを、様々な角度から語り尽くします。

"Dappi" Talk is a series of panel discussions about how Art can facilitate transformation - "Dappi" - of ourselves, cities, and societies. Panelists from various social sectors will introduce different approaches for the shift. Get inspired and hear from global practitioners of art thinking.

Out of the Box 3: 新たな社会システムへの脱皮

월16:30 - 18:00 (開場16:10)

デジタル革命はAI技術の進化とともに新たな局面を迎えています。安心、安全という 名のもとの監視、検閲、社会信用システムなど、気づかぬままに画一性を擦り込まれ、 新たな箱に閉じ込められてしまう前に、私たちは何ができるでしょうか。アーティスト たちの活動を通して「新しい社会システムへの脱皮」について議論を深めます。

脱皮エキシビション | 脱皮スクエア

P.08-09

2.23 STARTS - Innovation at the Nexus of Science. Technology, and the ARTS: アートシンキングが触発する脱皮

●19:00 - 20:30 (開場18:40)

「アートが触媒となり科学・技術革新を触発し、社会や経済に刺激を与える」。このセッ ションではEUの創造戦略であるSTARTSイニシアチブを紹介し、その中心的な役割 を果たすアルスエレクトロニカのメンバーとEU・日本のキーパーソンたちが、これか らのアート×企業、そこから生まれる社会、イノベーションの形を議論します。

脱皮エキシビション | 脱皮ラボラトリー

♠ P.10-11

2.24 Japanese Media and Art: 日本のメディアアートとこれから

▶16:30 - 18:00 (開場16:10)

日本のメディアアートはこの50年いかに日本の社会と関わり、どのような変遷を経て きたのでしょう。日本のアーティストたちは、アルスエレクトロニカや世界からどのよ うな評価を受けてきたのでしょう。日本とオーストリアのアーティストや教育者が、日 本におけるメディアアートの歴史とこれからの社会における役割を議論します。

2.24 FUN DRIVENが世界を変える ~日常を変える実践~

▶19:00 - 20:30 (開場18:40)

21世紀、人はどう遊び、何と繋がるのでしょうか。人類はテクノロジーが生み出す 自律的なモノや環境との対話の中に、新たな人間性を見いだし始めています。そこで 生まれる新たな言語はどんな社会や共同体を生み出すのか。デジタル時代の新たなコ ミュニケーションを探求するキーパーソンが、楽しい未来の発明の仕方を議論します。

脱皮エキシビション「Install FUNGUAGE in PUBLIC」

P.15

SDEAKED

h の (エイチ・ドット・オー) アーティストグループ

長谷川 愛 (Ai Hasegawa) アーティスト、デザイナー

Guillaumit and Les Plasticiens Volants (ギョミ アンドレ・プラスティシアン・ヴォラン)

アーティスト

小川絵美子 (Emiko Ogawa) ブリ・アルスエレクトロニカ・ヘッド

SPEAKER

#出信孝 (Nobutaka Ide) 株式会社ワコム代表取締役社長兼CFO

田中和子 (Kazuko Tanaka)

株式会社VoiceVision エグゼクティブコミュニティプロデューサー

Veronika Liebl (ヴェロニカ・リーブル) アルスエレクトロニカ・ディレクター・オブ・ヨーロピアン・

Clara Blume (クララ・ブルーム) オープン・オーストリア 副ディレクター、

EUNIC シリコン・バレー 所長

MODERATOR

小川秀明 (Hideaki Ogawa) アルスエレクトロニカ・フューチャーラボ・井同代表

SPEAKER

関口敦仁 (Atsuhito Sekiguchi) 愛知県立芸術大学 美術学部 教授

Christa Sommerer (クリスタ・ソムラー) リンツ芸術デザイン大学 インターフェイスカルチャー学科

落合陽一 (Yoichi Ochiai) メディアアーティスト

MODERATOR

小川絵美子 (Emiko Ogawa) プリ・アルスエレクトロニカ・ヘッド

SPEAKER

Veronika Liebl (ヴェロニカ・リーブル) アルスエレクトロニカ・ディレクター・オブ・ヨーロピアン・ コオペレーション

田中れな (Rena Tanaka) 株式会社博報堂 ブランド・イノベーションデザイン局 クリエイティブプロデューサー

田中元子 (Motoko Tanaka) 株式会社グランドレベル 代表取締役社長

荒明浩一 (Koichi Araake) 株式会社バンダイナムコ研究所 イノベーション戦略本部

MODERATOR

フューチャーデザイン部

小川秀明 (Hideaki Ogawa) アルスエレクトロニカ・フューチャーラボ・共同代表

"Dappi" Campus Exhibition / "Dappi" Performance / "Dappi" Workshop / "Dappi" Talk / "Dappi" Tour

	2.20 THU	2.21 FRI	2.22 SAT	2.23 sun	2.24 MON
11:00 —			"Dappi" Campus Exhibition	"Dappi" Workshop	"Dappi" Workshop
11:30			Campus Exhibition 公開講評会 11:00 - 12:30	 未来のアイコンを 作ろう 11:00 - 12:30	脱皮する アート・ワークショップ by アルスエレクトロニカ
12:30			⊘ P.18	0 P.22	11:00 − 12:30 ⊙ P.22
13:00-					
13:30				"Dappi" Tour "Dappi" Workshop 脱皮ツアー 13:00 – 13:45	"Dappi" Tour 脱皮ツアー 13:00 - 13:45
14:00-					9 P.05
14:30			"Dappi" Campus Exhibition	"Dappi" Talk P.21 Out of the	"Dappi" "Dappi" Workshop Workshop
15:00-			Post University: 誰のための大学? 14:00 - 15:30	Box 2: イノベーションの ための脱皮 "Dappi" Performance	自然から学ぶ 物語のある ものつくり 脱皮 (メディア編) 14:00 - 15:30
15:30			⊘ P.19	14:00 - 15:30 ぶくぶく カーニバル 15:00 - 15:30 ◆ P.24 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	• P.23 • P.23
16:00-					
16:30			,		
17:00—			"Dappi" Talk	"Dappi" Talk	"Dappi" Talk
17:30			Out of the Box 1: 自分自身からの脱皮 16:30 - 18:00	Out of the Box 3: 新たな社会システムへの脱皮 16:30 - 18:00	Japanese Media and Art: 日本のメディアアートとこれから 16:30 - 18:00
18:00-			⊅ P.24	9 P.25	9 P.25
18:30	(ID!!)				
19:00—	"Dappi" Performance DAPPI MUSIC PERFORMANCE	"Dappi"	"Dappi"	(Dans)	"Franci"
19:30	18:30 - 19:30 • P.20	Talk Media Art in Tokyo: メディアアートは TOKYOを	Talk Citizens of the Future: 未来の市民が学ぶこと	"Dappi" Talk STARTS - Innovation at the Nexus of Science, Technology, and the ARTS:	"Dappi" Talk FUN DRIVENが世界を変える ~日常を変える実践~
20:00		どう脱皮させられるか? 19:00 - 20:30 O P.24	19:00 - 20:30 ⊘ P.24	アートシンキングが触発する脱皮 19:00 - 20:30 ⊘ P.25	19:00 - 20:30 ▶ P.25
21:00-					
21:00-					

エリアを超えて4つのアートイベントが連携

東京がメディアアートに染まる1カ月!

2020年2月7日(金)~3月14日(土)

この時期、東京では「恵比寿映像祭」、「未来の学校祭」、「DIGITAL CHOC」、「MEDIA AMBITION TOKYO」 という4つのアートとメディアのイベントが開催中。

これらが開催エリアやイベントの枠組みを超えて連携し、東京のメディアアートシーンを盛り上げます。 期間中、コラボレーションプログラムやイベントオーガナイザーが一堂に会するトークイベント、 各イベントを巡って楽しむハッシュタグキャンペーン (#ARTANDMEDIA_TOKYO) などを展開します。

During this period, four events regarding art and media: "Yebisu International Festival for Art & Alternative Visions," "SCHOOL OF THE FUTURE FESTIVAL," "Digital Choc," and "Media Ambition Tokyo" are being held in Tokyo. These events will collaborate beyond the borders of areas and frameworks, to enliven the media art scenes in Tokyo. During this period, collaborative programs, public talks involving event organizers, the hashtag campaign "#ARTANDMEDIA_TOKYO" for visiting and enjoying events, etc. will be held.











#ARTANDMEDIA_TOKYO

4つのイベント会場で

異なる限定ノベルティもらえます!

イベントごとに異なるノベルティグッズをご用意して います。#ARTANDMEDIA_TOKYOのハッシュタグ をつけてSNSに投稿してください。東京ミッドタウ ンでは、投稿画面をイベントスタッフに提示すると、 「未来の学校祭」オリジナル缶バッジをプレゼント!



[Media Art in Tokyo]

配布期間やノベルティグッズの詳細は各イベントの公式WEBサイトをご覧ください。 ※ノベルティグッズは無くなり次第終了。お1人様1回限り

恵比寿映像祭

2月7日(金)~2月23日(日·祝) ※2月10日(月)、2月17日(月)休館

東京都写真美術館全館と地域会場で 展示、上映、ライブ、トークなどを複合 的に行い、映像分野の創造活動の活 性化と発展を目指しています。



DIGITAL CHOC デジタルショック

2月20日(木)~3月8日(日)

アンスティチュ・フランセ日本が主催。 画味 メディアアート、ビデオゲーム、アニメ 映画など新メディアから広がる、日仏の 連携を幅広く紹介します。



MEDIA AMBITION TOKYO メディア アンビション トウキョウ

2月28日(金)~3月8日(日)、14日(土)

最先端のテクノロジーカルチャーを実験 的なアプローチで都市実装する試み。 六本木を中心に都内各所で国内外の多 彩な分野のイノベーターが参画します。



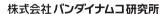




·HAKUHODO·

+I-STUDIO+

MESON Hakuhodo DY holdings







Mercedes-Benz

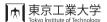


PARTNER | UNIVERSITY













EVENT PARTNER

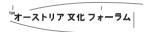








SUPPORT







SPECIAL SUPPORT





助成:公益財団法人東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京

COLLABORATION PARTNER

ORGANIZER







INFORMATION

ショップ・レストランの営業時間 Opening hours of shops and restaurants

ショップ Shops 11:00 - 21:00 | レストラン Restaurants 11:00 - 24:00

※一部店舗により異なります。詳しくはフロアガイドをご確認ください。 *Some shops keep different hours. Please check the floor guide for full details

〒107-0052 東京都港区赤坂9-7-1 東京ミッドタウン・コールセンター 03-3475-3100 [受付時間 10:00-21:00]

※掲載画像はイメージです。 ※掲載内容は変更になる場合があります。



